

川崎スポーツ

川崎競輪場

http://www.kawasakikeirin.com/



9月18日(月) 19日(火) 20日(水)

富士通フロンテックカップ スポーツニッポン杯争奪戦

FII

シリーズリーダーの福田!!

「富士通フロンテックカップ」は9月18日から20日の3日間開催される。

シリーズリーダーは、川崎ホームの福田知也(神奈川・88期)。自力自在の総力戦でも結果を出せるが、目標がいろいろとある同県の志佐明(神奈川・107期)と好連係を決める。北日本勢の軸は、ハワーあるカミン捲りが魅力の高橋幸司(山形・99期)で、西武園は好結果を残している。関東から器用な立ち回りに定評のある高橋広大(埼玉・99期)が登場。

CR戦は力接近して混戦ムードだが得点上位の山口茂(福島・98期)、横田政直(群馬・103期)、相樂修(千葉・78期)を中心にV争いが繰り広げられる。

ガールズ競輪は年末のガールズGPに向けて賞金を上積みしたい地元尾崎睦(神奈川・108期)や、前回弥彦でデビュー後初Vを達成した梅川風子(東京・112期)が川崎バンクに出走する。

A級注目選手

福田 知也
神奈川・88期



落車を契機に長い間シャープな差脚は影を潜めていたが、復調の兆しが見え始めたのは、前期中盤の高知GⅢや西武園GⅢより。5月松戸(FI)では地元川崎(FI)以来、約半年振りに決勝進出。

これがキッカケとなったのか、その後は各地で1着を量産している。

今回はA級陥落となってしまったがシャープなキマ脚は衰えていない。ただ、戦歴や脚力から各地で人気になる事は当然だが、優勝には縁遠かった。

前回立川(FI)は、四日市の失格は気にしていない。気持ちを切り替えて頑張るだけですね」と自然体で臨み、決勝戦は同県佐々木龍(神奈川・109期)の番手から直線、気に抜け出した。

安定感という面にはやや不安が残るものの、ツボにハマった時のパワーは強烈だ。



8月弥彦(FI)は病気の為に欠場したが、前回の西武園ビッグナイท์(FI)では予選から持ち味を發揮している。打鐘から主導権を取りに動くこと、S級でも徹底先行でならしていたノ瀬匠(佐賀・92期)の反撃をきっちり合せて先行態勢。番手回り外崎一成(北海道・94期)に微差まで詰め寄られるが、何とか振り切つて白星スタート。準決勝は売り出し中の高橋亮(東京・109期)―近藤寛央(東京・97期)のベイス駆けとなり後手を踏んでしまう展開も、2コーナーから捲り大外突き抜けて2連勝。最終日は中団を支配した恩田淳平(群馬・100期)に先捲りを打たれそれを追う形となり、1車身届かず2着という内容だが、連日車は伸びは悪くない。

高橋 幸司 山形・99期

A級CR注目選手

山口 茂
福島・98期



12班戦でも1勝級の実力者だが、落車の影響が長引いた影響から点数を落とすとしてしまふ。今期からはCR戦、持ち味は斬れのあるタツシュを生かしたタテ攻撃だが、組み合せによっては若手の自力選手を援護してのマーク戦もそつなくこなす。

前回函館(FI)は東西の混合戦。予選はベロン伊加哲也(岡山・70期)が鐘過4角から徐々にベイスを上げて主導権を奪取。5番手からの巻き返しを狙うが、谷尾佳昭(岡山・53期)の牽制を受け失速し4着。準決勝は先行職人大井崇(茨城・73期)との2分戦。内を掏り中川昌久(茨城・94期)を捌くが展開はモツれ、ゴール前何となく立ち遅れ。決勝は北日本勢の新人門脇翼(秋田・111期)に託す形となったが、最後は車の出が息で結果は4着と未勝利に終わったが約1カ月振りとなる今開催に向けてさつちり仕上げていくはずだ。

ガールズ注目選手

尾崎 睦
神奈川・108期



9月平塚(FI)で開催された初日子選は、単騎登録選手177名、世界選手権500MTT8位のファンリオン(オランダ)と対戦。お互いの脚力が把握出来ていない状態だけに、レースは手探り状態。尾崎睦が様子を見ながら打鐘で動き出すと、そのまま主導権を奪取。ファンリオンがホームから鋭い踏み出しで巻き返しを狙う。バックで捲られてしまふが、番手に付け直して直線抜け出し1勝。

2日目は177名世界選手権スプリント9位のハンセン(ニュージーランド)を相手に、ホームから仕掛けて先行策に出るが、捲られ2着という結果。

決勝戦の位置取りは前から2番目。正攻法の吉村早耶香(静岡・112期)が出てハートをかけて、バックから捲つて出るがタイミングが若干遅れてしまふ、ハンセンファンリオンに飲み込まれてしまふ。

世界大会で活躍する外国人選手に力負けしたものの、地元戦に向けてきつちり修正して臨む。

梅川 風子 東京・112期



競走訓練でも徹底して先行に拘り26勝をマーク。第1回記録会ではゴール前キープを獲得。卒業記念では信念を貫いて見事逃げ切つてチャンピオンに輝いており、将来を期待されるガールズ選手の1人が、前回の弥彦(FI)で初Vを達成。

レースを振り返ると、初日予選から持ち味をフルに發揮する。土屋珠里(栃木・110期)を突っ張ると、そのままベイスに持ち込み押し切る。予選2日目でも先行逃げ切りを狙うが脚を溜めていたホーム加瀬加奈子(新潟・102期)の捲りに飲み込まれて4着。それでも集中力を切らずすまぐ迎えた決勝戦は、鐘4角からスタートしていつも通りの先行策に出る。前受けから番手につた林真奈美(福岡・110期)の猛追をタイマ振り切つて念願の初V。今開催は実績No.1の梶田舞(栃木・104期)や地元戦で気合い十分の尾崎睦(神奈川・108期)といった強敵揃いだが、先行で見せ場を作る。



URBAN BANK
かわさきケイリン

○	▲	◎	予想氏
長田祐祐	高橋広大	福田知也	(近況4ヶ月成績)
神奈川 87期	埼玉 99期	神奈川 88期	府県 期別
A1	A1	A1	級別
5	4	2	1着
1	6	3	2着
2	0	1	3着
10	14	16	着外
0	0	0	失格
0	0	0	棄権
18	24	22	出走回数
27.7	16.6	9.0	勝率
33.3	41.6	22.7	連対率
44.4	41.6	27.2	3連対率
0	0	1	H数
0	0	1	B数
91.33	89.62	89.50	競走得点